

平成28年度 学校関係者評価報告書

大阪市立塩草立葉小学校 学校協議会

1 総括についての評価

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」や保護者・児童アンケート結果などから、教育活動が順調にすすんでいることがわかった。今後も、学力向上および道徳心・社会性の育成、健康・体力の保持増進などについて、計画的・組織的に取り組んでほしい。教職員は、協力して教育活動推進に努めており、本校の自己評価結果は妥当である。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上

- ・平成28年度末の算数の各学年の学習理解度到達診断（しんだん）における正答率8割以上の設問における正答率を80%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ・平成28年度末の児童アンケートにおける「授業の内容がわかる」と答える児童の割合を90%以上にする。（マネジメント改革関連）
- ・平成28年度末の保護者アンケートにおける「学校は子どもの学力を高めるよう努力している」と答える保護者の割合を90%以上にする。（ガバナンス改革関連）
- ・平成28年度末の保護者アンケートにおける「学校は教育内容、方針をわかりやすく伝えようとしている。」と答える保護者の割合を100%に近づける。（ガバナンス改革関連）

○全国学力・学習状況調査結果や保護者からの「授業アンケート」、児童・保護者アンケートなどから、達成状況の評価は妥当である。

年度目標：道徳心・社会性の育成

- ・平成28年度末の児童アンケートにおける「場に応じたあいさつができています」と答える児童の割合を80%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ・平成28年度末の児童アンケートにおける「自分にはよいところがある」と答える児童の割合を80%にする。（カリキュラム改革関連）
- ・平成28年度末の保護者アンケートにおける「危機から守る取り組みを進めている」と答える保護者の割合を90%以上にする。（ガバナンス改革関連）
- ・平成28年度末の保護者アンケートにおける「学校は子どもに人権を大切にする意識を育てようとしている」と答える保護者の割合を90%以上にする。（ガバナンス改革関連）

○児童アンケートの結果、あいさつや自己肯定感は9割以上であり、達成状況の評価は、妥当である。今後も、さらなる意識づけをすすめてほしい。

年度目標：健康・体力の保持増進

- ・平成28年度の新体力テストを実施し、その結果をもとに、授業の改善を図ったり、体育科で学んだ運動の生活化を図ったりする。（カリキュラム改革関連）
- ・本年度、全学年で、正しい姿勢で座って学習できる児童を昨年より増やす。（ガバナンス改革関連）
- ・平成28年度末の児童アンケートにおける「休み時間など、進んで運動場に出る」と答える児童の割合を80%以上にする。（カリキュラム改革関連）
- ・平成28年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの健康面や体力づくりに努めている」と答える保護者の割合を90%以上にする。（ガバナンス改革関連）

○全学年の新体力テスト3種目（50m走・ソフトボール投げ・立ち幅跳び）平均は、男子18種目中12種目、女子18種目中、9種目が全国平均を上回った。達成状況の評価は、妥当である。今後も、家庭、地域と連携して体力向上に取り組んでほしい。

3 今後の学校運営についての意見

○学校が、保護者・地域と連携して、熱心に教育活動を推進していることは評価できる。教育活動がさらに充実するよう、今後も教職員が一致団結して取り組んでほしい。